



神奈川県議会議員

川崎修平

自民党青年局 中央常任委員会 副議長に就任！！



昨年の9月29日、自民党の総務会において牧島かれん衆議院議員（神奈川17区）が第51代青年局長に就任されました。自民党青年局とは、全国に居る45歳以下の党所属の国会議員はじめ地方議員・会社員・学生などによって構成される機関で、私が総局長を務めている神奈川県連青年局の全国版です。

そして、光栄なことに、私も9月に全国47都道府県にいる45歳以下の地方議員で構成される『自民党青年局中央常任委員会』の副議長という重責を拝命することとなりました。

これにより、神奈川県議会やかながわ自民党での活動に加え、週1回、党本部で行われている定例会議にオンラインで出席したり、全国各地で行われる青年局の会議に出席するようになりました（例えば、昨年の11月ですと、全国8ヶ所で行われたブロック会議に出席したりしています）。

勿論、今の時期ですと議題に挙がるのは新型コロナウイルスへの対策に関してです。議会にいても全国の情報も資料として目にすることが出来ますが、実際に現地でしか知ることの出来ない『生の声』を聴けることは非常に有益性が高く、各地で取り入れている様々な感染症対策は神奈川県にもフィードバックすることが出来ます。また、青年局では、台湾をはじめとした国際交流、全国研修会、憲法改正や拉致問題解決に向けた全国一斉街頭行動といった活動も常時行われています。

任期期間中はこれまでに比べ鶴見区を離れることも増えるかと思いますが、神奈川県のために様々な施策や取り組みを全国から持ち帰り、神奈川県の実現に努めてまいります。



自民党本部に「73歳定年制」の申入れを行いました



今年1月。全国の青年局でまとめた8つの事項を二階幹事長をはじめとする自民党幹部に申入れし、私も中央常任委員会の副議長としてオンラインで同席しました。

中でも、次の衆院選で「73歳定年制」のルールを厳守する旨の項目は、複数のメディアにも取り上げられ、各所から大きな反響をいただきました。「73歳定年制」とは自民党が2003年に設けた独自のルールで、衆議院議員選挙の比例区で73歳以上の候補者を認めないとする定年制なのですが、実際には衆院選が近づくとうるさくになってきてしまい、実現されてこなかったという経緯があります。

私たち自由民主党青年局・青年部・学生部は、「私たちがいるから自民党は大丈夫、安心だと思ってもらえる存在であろう」をミッションに、「ファーストペンギン」として改革の荒波に真っ先に飛び込んでいくことをモットーとしています。青年局には“党内野党として言うべきことはしっかり言っていく”ということを期待されていますので、今後もその役割を果たしていきたいと思っています。

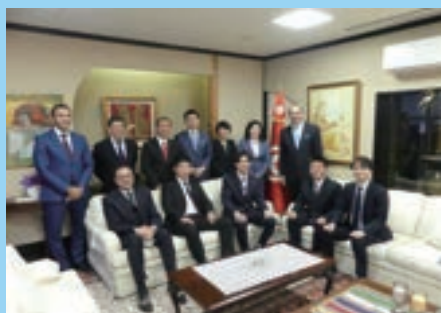
～次世代を担う若者たちの育成～



かながわ自民党の青年局長、党本部の青年局中央常任委員会副議長に就任して以来、各地で学生や若い世代の方々と対話させていただく機会が増えました。

当然、今の時期は感染症対策に細心の注意を払う必要があるのですが、1度に会える人数は限られますが、コロナ禍における学生たちの悩みや学習環境の問題点・課題を聞き、県や国に届ける活動を行っています。また、体験の創造も我々の使命でありますので、2020年東京オリンピック・パラリンピックで横浜市がホストタウンとなっているチュニジア共和国の駐日大使公邸を学生たちと訪問し、普段は体験できないような交流を企画しました。

いかなる状況下にあっても学生たちの学びの場が失われないよう、引き続き若い世代の声に耳を傾けてまいります。



※ 記念撮影時のみマスクを外しています。

